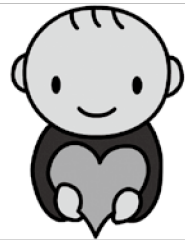


らんぼうな  
「JUNIOR」ポスターショー



スクールサポーター  
(臨床心理士)  
小林 真理

今回は「学習障害」について触れていきます。レッテル貼りや差別化ではなく、正しい知識に触れることで、「本人が何に困っているのか・困りやすいのか」を知っていくことができるようになります。

【学習障害「LD」】

学習障害はLearning(ラーニング=学習) Disabilities(ディスアビリティ=力を出しきれない)やLearning Disorders(ディスオーダー=障がい)などと言われるものの頭文字をとって「LD」と言われています。全般的な知的な遅れを伴うものではなく、「読み」「書き」「計算」「聞く」「話す」「推論する」などのことを学習していくうえで必要な力において、部分的に「まづぎや遅れが生じていること」を言います。

学校ではみんな一緒に学習しているため、どうしても他の子どもと比べられてしまいがち、やる気がない、ボーっとしている、などと誤解されがちです。LDは、その子どもが生まれつきもっているものなのですが、発達のかたよりがそれほど目立たないため、小学校に入学するまでにはなかなか気付くことができません。入学して学習をしていくなかで、担任の先生や保護者の方から「あれ？」と気づくことが多いようです。

早期発見のポイントとしては、「あれ？」と思った時点で個別の知能検査が参考になります。知的に大きな遅れがないLDのお子さんですが、知能や認知の力に部分的な落ち込みやバランスの悪さがあるため、これを保護者や学校側が把握することではじめて「差別」や「甘やかす」のではなく、その子どものタイプにあった学習方法を考え、理解しやすいような教え方、話し方を工夫していくなどの対応ができるのです。

まだまだ十分な理解が広まっていないLDですが、統計上は日本でもクラスに一人はいる計算です。それぞれに応じた学習がある、ということを知っていただけるといいですね。

次回は、ADHD(注意欠陥多動性障害)についてふれていきます。

文 献

- 「子どもの精神医学ハンドブック」(株)日本評論社
- 「障害を知る本⑧ LDの子どもたち」(株)大月書店

植物園だより 4月1日より開園

入園料 1人 100円(小学生以上)  
開園日 4月1日～12月25日



オオバナノエンレイソウ

当町に自生するミヤマエンレイソウに比べ大きな花をつけます。今月の中旬から下旬に見ごろを迎えます。

◆4月花ごよみ

上旬

アラゲヒヨウタンボク、オオバマンサク、ザゼンソウ、セリバオウレン、ハシバミ、ハヤザキヒヨウタンボク、ミツマタ

中旬

アカヤシオ、アズマイチゲ、エゾムラサキツツジ、カタクリ、キブシ、ナンブイヌナズナ、フサザクラ、ヤマトレンギョウ

下旬

アメリカミズバショウ、エイザンスミレ、コブシ、サンカヨウ、シダレザクラ、シヨウジョウバカマ、トガクシソウ、ハナノキ

※主なものを掲載

●植物観覧会のお知らせ

と き 4月29日(日) 10時30分～11時30分  
料 金 入園料のみで参加できます。

定 員 20名

講 師 植物園職員

内 容 園内を散策しながら、見頃の植物などを紹介します。

※申し込みは不要です。

※天候状況等により時間の短縮や観覧会を中止にする場合があります。

あります。

【問い合わせ】町植物園 ☎48・3337